



I 令和4年度決算の状況

各会計財政収支の状況

■ 一般会計

(単位：円、%)

区分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の比較増減	予算現額に対する 決算額の比率
歳入	77,623,525,000	68,569,078,384	△ 9,054,446,616	88.3
歳出	77,623,525,000	66,256,486,472	11,367,038,528	85.4
歳入 歳出 差引額	0	2,312,591,912	翌年度 へ繰越	繰越事業費繰越財源 充当額 552,473,000 剰余金 1,760,118,912

■ 国民健康保険事業会計

(単位：円、%)

区分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の比較増減	予算現額に対する 決算額の比率
歳入	5,813,930,000	7,039,788,939	1,225,858,939	121.1
歳出	5,813,930,000	5,619,855,668	194,074,332	96.7
歳入 歳出 差引額	0	1,419,933,271	翌年度 へ繰越	繰越事業費繰越財源 充当額 0 剰余金 1,419,933,271

■ 介護保険特別会計

(単位：円、%)

区分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の比較増減	予算現額に対する 決算額の比率
歳入	4,746,958,000	4,459,047,629	△ 287,910,371	93.9
歳出	4,746,958,000	4,139,148,092	607,809,908	87.2
歳入 歳出 差引額	0	319,899,537	翌年度 へ繰越	繰越事業費繰越財源 充当額 0 剰余金 319,899,537

■ 後期高齢者医療特別会計

(単位：円、%)

区分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の比較増減	予算現額に対する 決算額の比率
歳入	1,978,524,000	1,984,643,093	6,119,093	100.3
歳出	1,978,524,000	1,883,585,395	94,938,605	95.2
歳入 歳出 差引額	0	101,057,698	翌年度 へ繰越	繰越事業費繰越財源 充当額 0 剰余金 101,057,698

一般会計決算の状況

1 歳 入

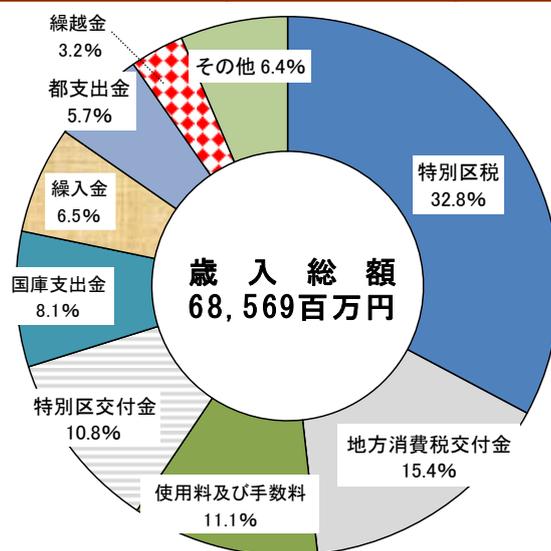
令和4年度一般会計歳入総額は、685億69百万円であり、対前年度比28億84百万円、4.4%の増となりました。

- 特別区税は、225億4百万円で、対前年度比17億78百万円、8.6%の増となりました。これは、主に課税標準額の増による特別区民税の増などによるものです。なお、入湯税については、観光の振興経費に活用しています。
- 地方消費税交付金は、105億73百万円で、対前年度比6億85百万円、6.9%の増となりました。これは、主に消費税収が増となったことなどによるものです。なお、消費税率引き上げ分については、社会保障費に活用しています。
- 特別区交付金は、74億5百万円で、対前年度比△8億79百万円、△10.6%の減となりました。これは、基準財政収入額の増及び産業経済費の減などによる基準財政需要額の減による普通交付金の減などによるものです。
- 使用料及び手数料は、76億22百万円で、対前年度比15億91百万円、26.4%の増となりました。これは、主に道路占用料の増などによるものです。
- 国庫支出金は、55億67百万円で、対前年度比△6億33百万円、△10.2%の減となりました。これは、主に子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金の減などによるものです。
- 寄附金は、64百万円で、対前年度比△1億72百万円、△72.8%の減となりました。これは、主に開発協力金の減などによるものです。
- 繰入金は、44億11百万円で、対前年度比9億10百万円、26.0%の増となりました。これは、主にお茶の水小学校・幼稚園の整備などによる社会資本等整備基金繰入金の増などによるものです。
- 繰越金は、22億9百万円で、対前年度比△6億12百万円、△21.7%の減となりました。
- 諸収入は、19億61百万円で、対前年度比2億79百万円、16.6%の増となりました。これは、主に特別区競馬組合分配金の増などによるものです。

一般会計 歳入決算一覧表

(単位：円、%)

科目 (款)	令和4年度	令和3年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率
特別区税	22,504,047,071	20,725,904,142	1,778,142,929	8.6
地方譲与税	318,830,000	311,466,000	7,364,000	2.4
利子割交付金	65,963,000	48,698,000	17,265,000	35.5
配当割交付金	352,549,000	352,329,000	220,000	0.1
株式譲渡所得割交付金	272,712,000	433,453,000	△ 160,741,000	△ 37.1
地方消費税交付金	10,573,011,000	9,888,282,000	684,729,000	6.9
自動車取得税交付金	14,347	745	13,602	1,825.8
環境性能割交付金	80,661,624	70,045,733	10,615,891	15.2
地方特例交付金	15,891,000	34,306,000	△ 18,415,000	△ 53.7
特別区交付金	7,405,003,000	8,284,158,000	△ 879,155,000	△ 10.6
交通安全対策特別交付金	17,971,000	19,579,000	△ 1,608,000	△ 8.2
分担金及び負担金	901,703,966	813,258,081	88,445,885	10.9
使用料及び手数料	7,622,481,704	6,031,621,298	1,590,860,406	26.4
国庫支出金	5,566,782,296	6,199,612,894	△ 632,830,598	△ 10.2
都支出金	3,896,302,141	3,920,362,164	△ 24,060,023	△ 0.6
財産収入	329,279,155	311,050,659	18,228,496	5.9
寄附金	64,289,450	236,135,231	△ 171,845,781	△ 72.8
繰入金	4,410,822,681	3,501,229,197	909,593,484	26.0
繰越金	2,209,345,117	2,821,263,531	△ 611,918,414	△ 21.7
諸収入	1,961,418,832	1,682,808,130	278,610,702	16.6
歳入合計	68,569,078,384	65,685,562,805	2,883,515,579	4.4



2 歳 出

令和4年度一般会計歳出総額は、662億56百万円であり、対前年度比27億80百万円、4.4%の増となりました。

- 議会費は、4億1百万円で、対前年度比△4百万円、△0.9%の減となりました。これは、主に議員現員数の減に伴う議員報酬の減などによるものです。
- 子ども費は、168億29百万円で、対前年度比3億53百万円、2.1%の増となりました。これは、主に千代田区子育て・教育応援給付金の増などによるものです。
- 保健福祉費は、83億99百万円で、対前年度比△5億24百万円、△5.9%の減となりました。これは、主に新型コロナウイルスワクチン接種対策の減などによるものです。
- 地域振興費は、55億19百万円で、対前年度比△59百万円、△1.1%の減となりました。これは、主にキャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業の完了による減などによるものです。
- 環境まちづくり費は、83億20百万円で、対前年度比11億38百万円、15.8%の増となりました。これは、主に外濠公園総合グラウンド整備の増などによるものです。
- 総務費は、77億22百万円で、対前年度比30億21百万円、64.3%の増となりました。これは、主に旧和泉町ポンプ所跡地の購入の増などによるものです。
- 職員費は、115億15百万円で、対前年度比3億88百万円、3.5%の増となりました。これは、主に退職手当の増などによるものです。
- 公債費は、15百万円で、対前年度比△39百万円、△72.0%の減となりました。これは、主に教育債の元利償還金の減などによるものです。
- 諸支出金は、75億37百万円で、対前年度比△14億93百万円、△16.5%の減となりました。これは、主に社会資本等整備基金の新規積立の減などによるものです。

3 決算収支

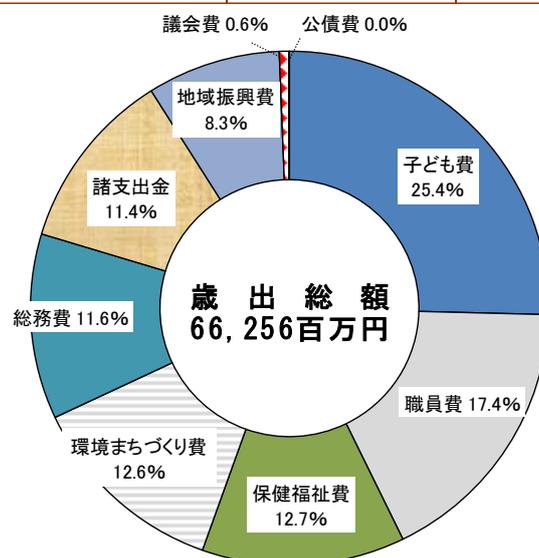
歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、23億13百万円となりました。

この形式収支から、翌年度へ繰り越すべき財源5億52百万円を差し引いた実質収支は、17億60百万円となりました。

一般会計 歳出決算一覧表

(単位：円、%)

科目 (款)	令和4年度	令和3年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率
議 会 費	400,940,420	404,620,539	△ 3,680,119	△ 0.9
子 ども 費	16,829,129,580	16,476,394,130	352,735,450	2.1
保 健 福 祉 費	8,399,136,326	8,922,731,101	△ 523,594,775	△ 5.9
地 域 振 興 費	5,518,997,618	5,578,130,119	△ 59,132,501	△ 1.1
環 境 ま ち づ くり 費	8,319,751,621	7,181,998,579	1,137,753,042	15.8
総 務 費	7,721,518,499	4,700,793,796	3,020,724,703	64.3
職 員 費	11,515,103,243	11,127,223,002	387,880,241	3.5
公 債 費	15,242,325	54,393,548	△ 39,151,223	△ 72.0
諸 支 出 金	7,536,666,840	9,029,932,874	△ 1,493,266,034	△ 16.5
歳 出 合 計	66,256,486,472	63,476,217,688	2,780,268,784	4.4



重点事項の取組み

令和4年度予算は、「希望の明日につなぐ あげぼの予算」として、「チャンス」、「チャレンジ」、「チェンジ」を強く意識しながら、「多様性を認め合い、包摂する社会」をめざし、誰一人取り残すことなく、様々な立場の方々に寄り添った形で諸施策を展開することとし、「千代田区DX」の取組みに加え、「ウォーカブルなまちづくり」、「2050 ゼロカーボンちよだ」の取組みを含む分野別施策として「命と健康を『まもる』取組み」、「生活を『ささえる』取組み」、「明るさや賑わいを『つくる』取組み」を重点事項として編成しました。

各重点事項の成果については、以下のとおりです。

「千代田区DX」 決算額 1,485 百万円（執行率 84.0%）

- オンライン申請に加え、オンライン予約、メッセージ機能、プッシュ型の情報発信機能等を具備した、区と区民の結節点となる区独自ポータルサイトを構築しました。また、来庁時における手続の負担を軽減するため、麴町出張所と万世橋出張所で実証実験を開始するなど、スマートな窓口をめざした取組みを進めました。
- 職員自らが業務内容などに合わせて、働く場所を選択し、働き方をデザインできる「CABW (Chiyoda Activity-Based working)」の推進に向け、本庁舎2、4、5階の一部エリア及び富士見出張所において、モデル事業としてレイアウトの変更を実施しました。また、業務の効率化及びワークスペースの創出に向け、電子化によって執務室内にある既存の紙資料を減らすなど、ペーパーレス化を推進しました。

<主な事業の決算>

事業名	新規 拡充	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	執行率
全庁LANのリプレース		1,037,678	1,009,724	97.3%
総合住民サービスシステムのリプレース		158,026	148,874	94.2%
総合行政システムのリプレース		350,000	130,420	37.3%
デジタル化の推進に向けた調査検討 (P117)	拡充	134,095	132,488	98.8%
キャッシュレスの推進 (P118)	新規	12,536	8,625	68.8%
職場環境改善・事務効率化の推進 (P119)	新規	64,922	49,482	76.2%
デジタルデバイド対策 (P120)	新規	11,000	5,080	46.2%
合計		1,768,257	1,484,693	84.0%

命と健康を『まもる』取組み 決算額 1,399 百万円（執行率 76.1%）

- 妊娠期における支援として、全ての妊婦を対象に面接を実施し、面接を受けた妊婦に育児に必要な品物を購入することができる1万円相当のこども商品券を配付しました。また、出産後における母子への支援を推進するため、産後ケア事業では新たに「通所型」を開始し、対象者を拡大するなど、支援を必要とする方が利用しやすい環境を整えました。
- 喫煙者と非喫煙者が共生できるまちの実現のため、公衆喫煙所の新規設置に取り組むとともに、既存の公衆喫煙所を対象に空気環境測定を実施しました。測定結果をもとに改善指導や面談を実施し、周辺環境に配慮した施設整備に取り組みました。また、客引き行為の指導取締体制の強化を図るため、客引き行為等防止重点地区のパトロール範囲の拡大、実施回数の拡充を行いました。地域団体や警察署等と連携したパトロールの実施や、メイドカフェ事業者などを対象とした遵法営業に資する研修会の開催など啓発事業にも取り組みました。
- 企業や団体等の取組みや次世代の意見を広く発信し、区内の脱炭素化に向けた取組みの促進を図るため、「ちよだゼロカーボンフォーラム」を開催したほか、地方連携による産地指定の再エネ供給・再エネ施設整備に向けて検討しました。また、再生可能エネルギー電力への切替えを促進するため、切替えを行った区民に対し啓発品の支給等の実施やクリーンエネルギー自動車の購入・充電設備設置への助成制度を新設しました。
- 防災士の資格取得に係る費用の助成を行い、各地区で地域防災の担い手を育成することで、地域防災力の向上を図りました。

<主な事業の決算>

事業名	新規 拡充	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	執行率
福祉避難所の防災訓練 (P51)	拡充	3,993	3,267	81.8%
個別避難計画の作成 (P52)	新規	8,135	7,086	87.1%
出産・子育て支援 (P64)	拡充	39,090	37,314	95.5%
新型コロナウイルス対策 (P68)		200,828	183,058	91.2%
新型コロナウイルスワクチン接種対策 (P69)		711,083	507,996	71.4%
喫煙所設置対策 (P73)	拡充	572,023	452,335	79.1%
客引き行為等の防止対策 (P74)	拡充	95,972	81,418	84.8%
地球温暖化対策の推進 (P82)	拡充	63,384	19,360	30.5%
建築物の省エネ推進		120,624	90,931	75.4%
第4次実行計画の推進 (P83)	拡充	10,584	8,891	84.0%
防災意識の普及・啓発 (P121)	拡充	11,843	7,272	61.4%
合計		1,837,559	1,398,928	76.1%

生活を『ささえる』取組み 決算額 1,834 百万円（執行率 87.9%）

- 知的障害特別支援学級に在籍する児童の通学支援について、千代田小学校に在籍する児童に加え、令和4年度に特別支援学級を新設した富士見小学校に在籍する児童に対しても実施しました。また、新たに下校時の通学支援を実施するとともに、下校時の通学支援では自宅のみならず療育機関等への送迎も行うことにより、児童及び保護者のさらなる負担軽減を図りました。
- 保育園の園内業務を支援するシステムを導入・活用し、保護者がスマートフォン等で出欠の登録や園便り等の受信ができるようにすることで、保護者の利便性を向上させました。また、ICカードによる登降園時間の登録・管理や延長保育料の自動算定等、園内の事務作業を効率化し、保育士の業務負担を軽減することで、保育時間の充実と保育の質の向上につなげました。
- 神田地域のみで実施していた「高齢者見守り相談窓口事業」を、新たに麹町地域でも開始しました。また、認知症の正しい知識を持ち、認知症の人を支える取組みを積極的に実施している企業や大学を「千代田区認知症サポート企業・大学」として認証しました。

<主な事業の決算>

事業名	新規 拡充	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	執行率
特別支援学級通学支援 (P27)	拡充	83,424	50,263	60.3%
学校給食 (P28)		382,429	356,258	93.2%
次世代育成手当 (P30)	拡充	362,770	275,742	76.0%
子ども発達センター (P38)	拡充	99,658	99,654	100.0%
発達障害等の療育経費助成 (P39)	拡充	6,844	6,843	100.0%
障害児通所給付事業 (P40)	拡充	152,791	147,765	96.7%
園内業務支援システム (P43)	新規	20,940	20,937	100.0%
千代田区子育て・教育応援給付金 (P45)		617,102	558,948	90.6%
自立相談支援 (P47)	拡充	47,076	45,990	97.7%
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 (P53)		233,945	200,885	85.9%
ひとり暮らし高齢者等安心生活支援 (P54)	拡充	2,983	1,200	40.2%
よろず総合相談 (P58)	拡充	62,361	58,002	93.0%
認知症支援サービス (P59)	拡充	6,649	6,241	93.9%
地域密着型サービス事業所物価高騰緊急対策事業 (P61)		415	361	87.0%
障害福祉サービス事業所等物価高騰緊急対策事業 (P63)		7,776	4,781	61.5%
合計		2,087,163	1,833,870	87.9%

明るさや賑わいを『つくる』取組み 決算額 396 百万円（執行率 82.6%）

- 地域コミュニティの活性化を推進するため、マンション・コミュニティ・ゼミ（アーバニスト・ミーティング）や「ちよだコミュニティラボライブ！」を実施し、区民のコミュニティ参加へのきっかけとなるイベントや交流の場づくりを支援しました。また、地域団体向けにデジタル活用体験講習会やアフターフォローとしての訪問支援を実施するとともに、デジタル環境整備費用を助成しました。地域団体のホームページやSNSの新規開設など、デジタルツールを活用した情報発信により、新しい住民の活動参画推進につながりました。
- 千代田区でウォーカブルなまちづくりを展開していくための区民・事業者・行政で共有する指針となる「千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン」を策定するとともに、道路をはじめとするパブリック空間などを活用したプレイスメイキング（居心地の良い場所づくり）等の実証実験を行いました。また、公共空間などの活用方法をまとめた「エリアマネジメント活動推進ガイドライン」や川沿いのまちづくりの全体ビジョンと方針を示した「川沿いのまちづくりガイドライン」を策定しました。

<主な事業の決算>

事業名	新規 拡充	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	執行率
地域コミュニティ醸成支援 (P70)	拡充	29,224	29,027	99.3%
コミュニティ活動事業助成 (P70)	拡充	21,700	17,013	78.4%
ちよだ新産業振興・イノベーション創出促進事業 (P76)	新規	30,000	4,982	16.6%
障害者スポーツ・eスポーツ体験 (P79)	拡充	7,348	3,828	52.1%
ウォーカブルなまちづくりの検討 (P87)	新規	8,192	8,075	98.6%
エリアマネジメント推進ガイドラインの検討 (P88)	新規	4,852	4,760	98.1%
川沿いのまちづくりガイドラインの検討 (P89)	新規	3,852	3,375	87.6%
歩道のセミフラット化 (P90)	新規	20,000	15,033	75.2%
緑地帯及び緑道等維持 (P100)	拡充	354,249	309,916	87.5%
合計		479,417	396,008	82.6%